

令和3年 熱海土砂災害への中部地整の対応 (7/9 8:00 現在)

<主な活動状況>

■TEC-FORCE (括弧は現在の班数)

- 総括班(1): 現地調査班への情報支援、各班ロジ調整、
現地調整会議参加(消防、警察、自衛隊、TEC-FORCE)
- ドローン調査班(1): 源頭部、新規崩壊危険箇所の調査(ドローン)
- 砂防調査班(2): 調査結果とりまとめ
- 道路調査班(2): 道路状況調査
- 港湾調査班(1): 海上調査(ドローン)
- 応急対策班(建設機械)(1): 照明車の稼働
- 応急対策班(情報通信)(1): Car-SATによる現地調査及び映像配信

<中部地整の対応状況>

1. 中部地方整備局の体制

中部地方整備局 7月3日 14:00 非常体制(風水害)

2. TEC-FORCEの派遣状況 合計35名(7月9日8時時点)

TEC班名(派遣所属)	隊員数(人)
総括班(本局)	4
ドローン調査班(本局、豊橋)	4
砂防調査班(多治見、越美、富士砂防)	8
港湾調査班(本局、名古屋技調、四日市港)	3
道路調査班(本局)	6
応急対策班(建設機械)(木曾下流、新丸)	2
応急対策班(情報通信)(本局、名国)	2
リエゾン(本局)	6
合計	35

7月8日(木)の活動状況

・総括班

赤羽国土交通大臣の被災地視察対応

・ドローン調査班

調査結果のとりまとめ(天候不良によりドローン調査は中止)

・砂防調査班

多治見+越美班: 調査結果のとりまとめ

富士砂防班: 調査結果のとりまとめ

・応急対策班(建設機械)

投光器の設置について熱海市と調整

・応急対策班(情報通信)

長期化に備えた監視カメラ4台の電源状況調査、監視カメラの移設調整

- ・ **道路調査班**

 - 道路調査班①：土砂流出範囲より南側の道路調査計画の立案

 - 道路調査班②：土砂流出範囲より北側の道路調査計画の立案

- ・ **港湾調査班**

 - 災害廃棄物仮置場所（大黒崎清掃工場跡地）の調査、ドローンによる被災状況及び海面の浮遊物調査、災害廃棄物の仮置状況の確認

7月9日（金）の活動予定

- ・ **総括班**

 - 引継ぎ、現地調整会議（消防、警察、自衛隊、TEC-FORCE）への参加

- ・ **ドローン調査班**

 - AMは源頭部上流のドローン撮影、取材対応（テレビ朝日）

- ・ **砂防調査班**

 - 多治見+越美班：調査結果の取りまとめ

 - 富士砂防班：調査結果の取りまとめ

- ・ **道路調査班**

 - 道路調査班①：土砂流出範囲より南側の道路調査

 - 道路調査班②：土砂流出範囲より北側の道路調査

- ・ **応急対策班（建設機械）**

 - 熱海土木事務所で内業、排水ポンプ車帰還立ち会い

- ・ **応急対策班（情報通信）**

 - 監視カメラの移設調整（静岡県が設置した監視用足場へ国の監視カメラを移設可能か調整）

- ・ **港湾調査班**

 - ドローンによる被災状況及び海面の浮遊物調査、災害廃棄物の仮置状況の確認

以上